

平成26年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：薬務課

担当名：総務・薬事計画担当

内線：3625

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B97	化粧品産業国際競争力強化事業			一般会計	衛生費	医薬費	薬務費	薬事監視指導費	
事業期間	平成26年度～	根拠法令	なし				戦略項目	07	世界水準の中小企業
							分野施策	010305	医薬品などの安全対策と献血の推進
<p>1 事業の概要</p> <p>化粧品生産額全国第1位の埼玉県化粧品の製造業者が、世界人口の4分の1を占めるイスラム諸国の方々に安心して使用できるハラル化粧品を製造販売、輸出できるように県内の化粧品産業の国際競争力を強化する。</p> <p>(1) ハラル化粧品GMPガイドライン策定事業 1,400千円 経費の節減による減 委託料契約差金発生に伴う減</p> <p>(2) ハラル化粧品研究開発支援事業</p>				<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>2020年の東京オリンピック開催が決定し、今後、イスラム諸国が日本への関心を高め、人と物の交流がより活発化することから、日本製ハラル化粧品の需要拡大が見込まれる。 県内化粧品関連中小企業がこの機会を捉え、ハラル製品市場への参入について意欲が示されたことから、県はマレーシア政府機関等及び県内大学と共同でハラル化粧品GMPガイドラインを策定し、県内化粧品関連中小企業がハラル認証を受けられるよう支援する。</p> <p>ア ハラル化粧品GMPガイドライン策定事業 8,186千円 (ア) マレーシア政府機関等とハラル化粧品GMPガイドラインを策定 (イ) 県内化粧品関連企業に対しハラル化粧品GMPガイドライン等の研修を実施</p> <p>イ ハラル化粧品研究開発支援事業 3,000千円 動物由来物やアルコール等の宗教上の戒律から使用できない原料に代わる化粧品原料の調査研究</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア ハラル化粧品GMPガイドライン策定事業 ・マレーシア政府機関等との打合せ(2回) ・化粧品産業等国際競争力強化研修会(1回) ・ハラル化粧品GMP研修会(1回)</p> <p>イ ハラル化粧品研究開発支援事業 県内大学及び企業の「原料となり得る成分の調査研究及び製品化に向けた構造設備・製造方法等の調査研究」に対する補助</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア 県内の化粧品関係企業の事業拡大に伴う増収、雇用創出 イ 新たな化粧品製造所の県内誘致 ウ 食品など他の事業へのハラル認証拡大による新たな市場への進出 エ イスラム諸国との友好親善活動の促進</p> <p>(4) 補正予算の概要</p> <p>ア ハラル化粧品GMPガイドライン策定事業 留保減額： 31千円 委託料の契約差金発生に伴う減額： 1,369千円</p>					
<p>2 事業主体及び負担区分</p> <p>(1) (県10/10) (2) (県1/2)・事業者1/2</p>									
<p>3 地方財政措置の状況</p> <p>なし</p>									
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員</p> <p>9,500千円×1人=9,500千円</p>									
				財 源 内 訳					
予算額								一般財源	補正後の 予算額
決定額	1,400							1,400	9,786
現計額	11,186							11,186	